

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和106年01月29日

計画の名称	北部九州におけるストック効果を高めるアクセス道路整備													
計画の期間	令和03年度 ～ 令和07年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○		
交付対象	福岡県													
計画の目標	空港・港湾・IC・工業団地等の整備と連携して、主要な幹線道路までの道路を整備することで、道路ネットワークを強化し、物流の速達性の向上などストック効果を高め、更なる地域経済の活性化を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		16,331	A	16,331	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 $C / (A+B+C+D)$	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3年度末	R5年度末	R7年度末
1	空港・港湾・IC・工業団地等から主要幹線道路等までの所要時間短縮			
	空港・港湾・IC・工業団地等から主要幹線道路等までの所要時間短縮	0分	4分	23分
	Σ (整備前の空港・港湾・IC・工業団地等から主要幹線道路等までの所要時間)－ Σ (整備後の空港・港湾・IC・工業団地等から主要幹線道路等までの所要時間)			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

※全体事業費や事業実施期間は、あくまで計画時点の数値である。予算確保の状況や用地買収の進捗などによって、適宜計画の見直しを行っている。

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	都道府 県道	改築	（主）筑紫野古賀線・古 賀3工区	現道拡幅 L=0.84km	古賀市	■					240		－
	A01-002	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	都道府 県道	改築	（主）久留米筑紫野線・ 北野大刀洗工区	バイパス L=4.75km	久留米市、大刀 洗町	■	■	■	■	■	4,768		－
	A01-003	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	都道府 県道	改築	（主）久留米筑紫野線・ 小郡市2期工区	現道拡幅 L=1.96km	小郡市	■	■	■	■		1,430		－
	A01-004	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	都道府 県道	改築	（主）中間宮田線・直方 市工区	バイパス L=0.70km	直方市	■	■				195		－
	A01-005	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	都道府 県道	改築	（主）久留米筑紫野線・ 筑前町工区	現道拡幅 L=2.96km	筑前町、筑紫野 市	■	■	■	■	■	925	2.90	－
A01-006	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	国道	改築	（国）322号・甘木パイパ ス	バイパス・現道拡幅 L=1.63 km	朝倉市	■	■	■			1,087	1.04	－	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-007	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	国道	改築	（国）322号・嘉麻バイパス	バイパス・現道拡幅 L=2.65km	嘉麻市	■	■	■	■	■	6,248	1.09	－
	A01-008	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	都道府 県道	改築	（主）筑紫野古賀線・筑紫野市1工区	現道拡幅 L=1.92km	筑紫野市	■	■				470		－
	A01-009	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	都道府 県道	改築	（一）山口原田線・筑紫野市工区	バイパス・現道拡幅 L=2.30km	筑紫野市	■	■	■	■	■	856		－
	A01-010	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	都道府 県道	改築	（主）直方芦屋線・天神橋工区	バイパス L=0.8km	直方市		■				112		－
											小計						16,331		
												合計						16,331	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04	R05		
配分額 (a)	1,724	2,505	2,481		
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	1,724	2,505	2,481		
前年度からの繰越額 (d)	0	1,208	1,444		
支払済額 (e)	516	2,269	2,148		
翌年度繰越額 (f)	1,208	1,444	1,777		
うち未契約繰越額 (g)	847	574	1,082		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	49.12	15.45	27.56		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	補正予算によるもの	補正予算によるもの	補正予算によるもの		

事前評価チェックシート

計画の名称： 北部九州におけるストック効果を高めるアクセス道路整備

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画との整合等 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
①上位計画との整合等 2) 広域的な道路計画や災害リスクが勘案されている。	○
I. 目標の妥当性	
②目標の客観性・具体性・地域性 1) 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
I. 目標の妥当性	
②目標の客観性・具体性・地域性 2) 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 1) 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
I. 目標の妥当性	
④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性・円滑な事業執行の環境 1) 計画・事業の熟度が十分である。	○
I. 目標の妥当性	
⑤計画の具体性・円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○
I. 目標の妥当性	
⑤計画の具体性・円滑な事業執行の環境 3) 計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○